

令和2年 3月31日

平成31年度 地域貢献活動支援報告書

地域イノベーション推進機構長 殿

所 属 地域拠点サテライト東紀州サテライト
氏 名 山本康介

活動テーマ	東紀州サテライトを拠点とした熊野地域の小中高の児童・生徒に対する「木育」プログラムの開発と実施
実施期間	平成31年 5月 1日 ~ 令和2年 3月31日
活動内容	<p>(1) 具体的な活動実施内容</p> <ul style="list-style-type: none">・熊野木育会議（全9回） 熊野林星会（三重くまの森林組合、野地木材工業株式会社）、三重大学生物資源学部、三重大学教育学部、三重大学地域拠点サテライト、三重県熊野農林事務所、熊野市林業振興課、熊野市教育委員会、木本高校、NPO 法人あそぼらいつ、熊野市議会らとの情報交換や活動内容の協議等を実施した。・木育勉強会 三重大学教育学部の平山准教授を講師に迎えての木育勉強会を実施した（図1）。・オール熊野フェスタでの出展 毎年約8000人が訪れる熊野市のイベントで出展した。三重大学生も準備から参加し、簡易版セーザイゲーム（図2）、熊野の木でつくるカホン（図3、楽器）および活動内容のポスター展示とビラ配布を行った。・大阪東成区SDGsイベントへのセーザイゲーム出張実施 イベントへの出張実施を通して、セーザイゲームを広域へ展開するためのノウハウを蓄積した（図4）。・木本高校百周年記念制作 三重県立木本高等学校が来年度百周年を迎えるにあたり、総合学科の2年生約80名と共に、学校林の木を使った記念制作を計画・実施した。学校林の木を使用するために、間伐作業を地元森林組合に委託し、施業の見学を実施した（図5）。木を使った巨大ピクセルアートづくりを計画し、生徒有志による試験制作（図6）、熊野の林業に関する講義（熊野林星会、三重大学、三重県熊野農林事務所）、制作授業（図7、図8、総合学習の時間で実施、全8日14コマ）、ドローンによる撮影（新型コロナの影響を考慮し中止）。



図1 平山准教授を招いての木育勉強会



図2 オールNo.1熊野フェスタでのセーザイゲーム簡易版実施



図3 オールNo.1熊野フェスタでの熊野の木カホンづくり



図4 大阪東成区 SDGs イベントへのセーザイゲーム出張実施



図5 木本高校学校林での利用間伐施業見学
木本高校百周年記念制作の原料とする木を間伐する施業を、生徒らが見学。



図6 木本高校百周年記念制作のための試験制作
木本高校百周年記念制作は木本高校学校林の木を使った総合学科2年生の生徒ら80名の手による巨大ピクセルアートづくり。8月に試験制作を有志メンバーで実施した。



図7 木本高校百周年記念制作の塗装作業
木本高校総合学科2年生と総合学習の時間にて



図8 木本高校百周年記念制作コンパネへの貼り付け作業

(2) 地域への貢献（地域の発展・活性化への寄与、広がり）

熊野地域の林業を担う人材の育成、自然と人間の共生を図り地域社会の持続的発展に寄与することができる人材の育成を通じた、当該地域の主要産業である林産業の涵養が期待できる。熊野地域全体を巻き込んだ活動に発展しており、また、当該地域だけでなく関連業界における認知度が高まっている。活動の内容は新聞報道のほか、三重県林業技術普及協会発行の「三重の林業」（2019年7月号、5月号）（<http://www.ztv.ne.jp/evdva4b3/infomation.html>）、地域のフリーペーパー等でも取り上げられており、他の市町からの同様の活動の要請や活動内容の見学申請などが複数寄せられている。

(3) 共同実施者との連携状況

本活動は、熊野地域全体での“地域教育”としての木育の実施を産学官民連携体制で実施することで当該地域における関係者間で意見が一致しており、行政、教育委員会の注目度も高く、目的達成に向けて多くの組織・人々が主体的に参加している。

(4) 大学の教育・研究成果のかかわり

他の教育分野における効果的な手法などを取り入れる試みや、教育効果を客観的に評価するための方法についての検討を開始。成果は本活動へ還元するとともに、森林教育や野外教育の分野に向けて論文投稿中。

(5) イベント等開催実績（名称、実施場所、参加人数等）

イベント名称： オール熊野フェスタ（出展参加）

実施場所： JR熊野市駅周辺

参加人数：約8,000名。

イベント名称： 木育勉強会

実施場所： 熊野市林業会館

参加人数：児童2名、その他約20名、計約22名。

イベント名称： 大阪東成区「環境・SDGs体験フェスタ」

実施場所： 東成区民センター

参加人数：約560名。

イベント名称： 間伐見学

実施場所： 木本高校学校林

参加人数：生徒7名、その他2名、計9名。

イベント名称： ピクセルアート試験制作

実施場所： 熊野倶楽部

参加人数：生徒4名、その他2名、計約6名。

イベント名称： 木本高校百周年記念制作

実施場所： 木本高校

参加人数：生徒約80名、その他4名、計約84名（1日あたり、のべ14コ

マ実施。)

(6) これまでの取組みによって得られた具体的な成果について

本活動は様々な媒体で拡散されており、当該地域だけでなく多くの人に認知されてきている。また、活動の重要性を理解した人々の協力が各所で得られ、活動の内容が広がり、結果として、地域の多くの子どもたちに熊野の林業や森林環境を理解する機会を与えることができるようになってきた。今後は、これまでのような実施内容の充実に加え、持続的な実施体制の構築や、実施者の拡大を目指すとともに、科学的な見地による教育効果の測定やさらに効果的な実施方法について深めたい。